

令和2年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：学校法人濱名山手学院 関西国際大学

1. 事業の実績

(1) 事業目的

2019年10月からの幼児教育・保育無償化に伴い、子どもや子育てを取り巻く環境が急速に変化する。まず、第一に受け入れ人数の増加が見込まれる。また、就学前教育のみではなく、保育へのニーズが高まるため、幼稚園から認定こども園へ移行が行われ、それに伴う乳児の受け入れ、長時間保育など、幼稚園に求められる役割も多様化・複雑化する。そのため幼稚園教諭には、より高度な専門性が求められるようになっており、日々の業務に加え、その専門性を向上させることが責務となっている。

小・中学校の教員の8～9割が一種免許の保持者なのに対し、現在、働いている幼稚園教諭は、幼稚園教諭二種の免許保持者が7割以上を占めている。二種免許保持者に対し、一種への上進を進めることにより、専門性の向上と幼稚園教諭の処遇の改善につながるが見込まれる。

兵庫県では、基本理念を『安心して子育てできる兵庫の実現』に掲げた「ひょうご子ども・子育て未来プラン」(平成27～31年度、改定計画(2020～2024年))を策定しているが、改定計画の項目の4つ目の目標として、新たに「子どもが健やかに育つ安全・安心な社会づくり」を設定している。そこでは推進方策の一つに「幼児教育・保育と子育て支援」が入れられ、その対策として、保育人材の確保、保育人材の質の向上、多様なニーズに対応した子育て支援、幼稚園における取り組みの充実などが挙げられている。

昨年度実施した受講者アンケートによると、「専門性を高めたいから」「キャリアアップしたいから」が主な受講動機となっており、幼稚園教諭にとっても学びなおしの好機と捉えていると言える。

この事業を養成校・幼稚園・行政による協働の取り組みとして、「幼稚園教諭免許法認定講習」を実施することによって、地域における幼児教育の質の向上を行い、安全で安心な、子どもと子育てに温かい地域社会づくりを目的とする。

(2) 事業概要

実施時期	活動の内容		
	実施内容	評価	検討委員会
4月～10月	講義内容の検討・認定	・コロナ禍の影響を受けオンライン・オンデマンド等での実施を検討	事業推進検討部会 教務委員会

		<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンドにて申請・認定 ・履修証明プログラムとして学内認定 ・文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」に申請 	
10月～11月	兵庫県内および阪神間の幼稚園への広報		事業推進検討部会
11月～2月	対象講義の開講	オンデマンド（一部スクーリング実施）にて開講	研修講師
3月	評価・単位認定		研修講師 教務委員会

(3) 成果（事業の実績の説明）

①事業内容

開講内容：2020年度は10講習（10単位）を全てオンデマンドにて開講。一部の演習科目にスクーリングを実施。スクーリングは土日・夜間に実施。密を避け、2部構成、時間指定などにて対応する。

- ・オンデマンド講習の実施に対し、不安な方向けに事前説明会を行い、制度の説明や操作説明を行うことにより、受講者は問題なく受講できていた。
- ・実技の必要な講義については、教材を送付し対応した。「保育内容（造形）」では画用紙や折紙、パステルなどをキットとして郵送し、作品を写真に撮って提出するようにした。「音楽（伴奏法）」では、楽譜集を教材として送り、動画を見て練習の上、スクーリングにて試験を行うようにした。自宅にピアノがない場合はロールアップピアノを貸し出す、大学のピアノ練習室を予約制にて使用できるようにした。

受講料：4,000円

特記事項：本事業開講科目＋専用講座を合わせ、関西国際大学履修証明プログラム「幼児教育コーディネーター養成講座」とし、幼児教育コーディネーターに認定を行う。同履修証明プログラムを文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP事業）」に申請。2021年よりBP対象講座となる。

②受講者数

■科目別受講者数（実人数：90名）

	科目名	定員	申込者	受講許可	受講率	合格	不合格
1	教育心理学特論	80	59	59	73.8%	55	4
2	幼児教育特論	80	33	33	41.3%	26	7
3	保育内容（環境）	50	46	46	92.0%	36	10
4	保育内容（言葉）	50	30	30	60.0%	26	4
5	保育内容（総論）※	50	33	33	66.0%	31	2
6	障害児保育特論	80	47	47	58.8%	35	12
7	保育相談支援特論	80	59	59	73.8%	44	15
8	保育内容（人間関係）	50	33	33	66.0%	26	7
9	音楽（伴奏法）	40	33	33	82.5%	29	4
10	保育内容（表現・造形）	50	50	50	100.0%	44	6
	合計	610	423	423	69.3%	352	71

■勤務先種別受講者数

校種	私立認定 こども園	私立幼稚 園	公立幼稚 園	私立保育 園	県立視覚 支援学校	不明	総計
人数	56	26	3	1	1	3	90

■受講者居住地

兵庫県	大阪府	奈良県	京都府	青森県	宮城県	福島県	東京都
75	8	2	1	1	1	1	1

■昨年から継続の受講者 58名 新規受講者 32名

・コロナ禍の影響を避け、オンデマンド講習に急遽変更することとなったため、申請が遅れ、広報期間並びに募集期間が短くなったことが減少の原因と思われる。

・実人数は昨年度と同数であったが、定員に対する受講率は、昨年度の 78.5%から、今年度は 69.3%と少し減少した。これは昨年度からの継続受講者が多く、一人当たりの受講数が少ないためと思われる。

・昨年度からの受講者 58名中、38名（再試験合格の場合 42名）が上進に必要な 10単位を取得。今年度からの受講者 32名中 5名（再試験合格の場合 6名）が上進に必要な 10単位を取得した。昨年度の 25名と併せ、累計 68名（再受験合格の場合 73名）が上進に必要な

単位数を取得した。

(4) 今後の課題・展望

2年目である今年は、コロナ禍による影響を鑑み、全ての講習をオンデマンドにて実施した。具体的には、本学が使用しているLMS (Learning Management System) にて、オンデマンド講習を配信し、課題やレポートの作成を行った。それにより東北など遠方からも受講者があった。全国的なニーズがあるものとして考え、コロナ禍が落ち着いてもオンデマンド講座は継続実施する予定である。しかし、双方向性が得られないことにより、理解度がわからないこと、一昨年効果があった他園の教諭との意見交換ができなかった等、改善すべき点もあった。

今年度、一部の科目を本学の履修証明プログラム「幼児教育コーディネーター養成コース」としても認定できるようにし、文部科学省「大学等における職業実践力育成プログラム (BP)」へ申請を行い、次年度開講講座より承認された。次年度実績を上げることで、翌年以降、職業訓練給付金対象講習とする。

<講習内容についての改善点>

- ・令和2年度作成のオンデマンド教材をブラッシュアップし活用する。
- ・オンデマンド講習の一部に、スクーリングやリアルタイム配信による講義を取り入れ、理解度の確認とともに、教員間の情報交換の場を設ける。
- ・リーダーシップ、マネジメントなどの観点を取り入れ、ミドルリーダーの育成を意識した内容で行う。
- ・保険医療学部・心理学部をもつ本学独自の講習として、救急対応やコロナ禍における対応、防犯・防災などのリスクマネジメント観点の講習を増設する。

<運営方法についての改善点>

- ・履修証明プログラム「幼児教育コーディネーター養成コース」として、本学の単位認定、幼児教育コーディネーターとしても認定を行っている。
- ・令和3年度からは、上記履修証明プログラムが「文部科学省職業実践力育成プログラム認定の履修証明プログラム (BP : Brush up Program for professional)」認定されることになっている。
- ・本講習の一部を「教員免許状更新講習」と併用可能でかつ「キャリアパス (処遇改善Ⅱ)」対象講座となる通学型講習を実施する。

以上のように、講習機会拡充により、広く幼稚園教諭の専門性の向上並びにキャリアアップの支援を行う。

さらに、令和4年度には、履修証明プログラムを「職業訓練給付金対象講座」として、補助事業終了後も受講しやすい仕組みを作る。